

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 28 日

福岡県知事 殿

提出者

住所 福岡県北九州市  
若松区浜町1-4-7  
氏名 若築建設株式会社 九州支店  
執行役員支店長 古川 良二  
電話番号 093-752-3512

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

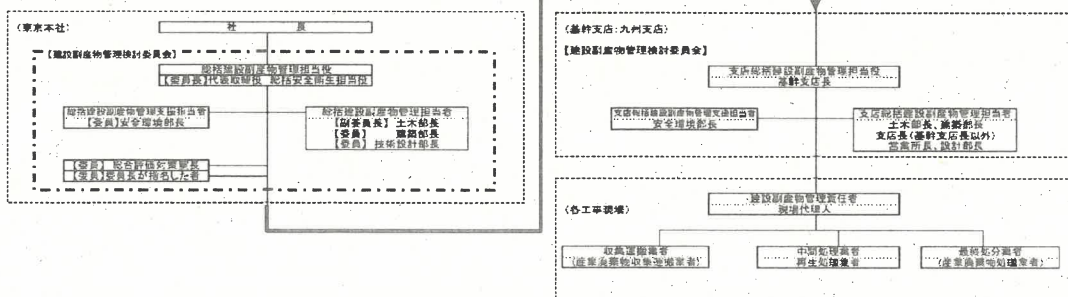
事業場の名称	若築建設株式会社 九州支店
事業場の所在地	福岡県北九州市若松区浜町1-4-7
計画期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D. 建設業
② 事業の規模	年間売上額(令和4年度実績 約250億円)
③ 従業員数	250名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	各工事現場→収集運搬業者→中間処理業者(再生処理) ○工事により発生する産業廃棄物は、委託契約をした収集運搬会社及び処分業者(再生業者)により運搬・処分を行う

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	排出量	15.75 t	4.80 t
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	排出量	273.35 t	3.39 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
	排出量	4,468.51 t	2.08 t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物
	排出量	136.40 t	1.43 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類（石綿含有）	ガラスくず等（石綿含有）
	排出量	0.53 t	14.00 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	汚泥
	排出量	147.10 t	1.78 t
	（これまでに実施した取組） ・分別収集を実施している ・施工計画を綿密に立て、材料等のムダ発生を抑制する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	排出量	9.40 t	2.80 t
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	排出量	164.00 t	2.00 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
	排出量	2,681.10 t	1.20 t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物
	排出量	81.80 t	0.80 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類（石綿含有）	ガラスくず等（石綿含有）
	排出量	0.30 t	8.40 t
産業廃棄物の種類	ガラスくず等	汚泥	
排出量	88.20 t	1.00 t	
（今後実施する予定の取組） ・分別収集を徹底を図る ・施工計画を綿密に立て、材料等のムダ発生を抑制する。			
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・分別収集を徹底できるよう、産廃BOXの適正な配置を行う。		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・分別収集を徹底できるよう、産廃BOXの適正な配置を行う。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類（石綿含有）	ガラスくず等（石綿含有）
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	汚泥
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
(これまで実施した取組) 無し			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類（石綿含有）	ガラスくず等（石綿含有）
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	汚泥
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
(今後実施する予定の取組) 無し			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類（石綿含有）	ガラスくず等（石綿含有）
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
産業廃棄物の種類	ガラスくず等	汚泥	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
(これまでに実施した取組)			
無し			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類（石綿含有）	ガラスくず等（石綿含有）
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
産業廃棄物の種類	ガラスくず等	汚泥	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
(今後実施する予定の取組)			
無し			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 4年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類（石綿含有）	ガラスくず等（石綿含有）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	ガラスくず等	汚泥	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
(これまで実施した取組) 無し			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類（石綿含有）	ガラスくず等（石綿含有）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
産業廃棄物の種類	ガラスくず等	汚泥	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
(今後実施する予定の取組) 無し			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

【前年度 ( 4年度) 実績】			
産業廃棄物の種類		廃プラスチック類	紙くず
①現状	全 処 理 委 託 量	15.75 t	4.80 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	15.75 t	2.10 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	12.60 t	4.80 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	木くず	金属くず
	全 処 理 委 託 量	273.35 t	3.39 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	20.35 t	3.39 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	259.68 t	2.71 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	
(これまでに実施した取組)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設廃棄物処理委託契約書に不備が無いよう確認事項を徹底する。</li> <li>・マニフェスト管理・追跡調査を行い、契約履行状況を確認する。</li> </ul>			
【目標】			
産業廃棄物の種類		廃プラスチック類	紙くず
②計画	全 処 理 委 託 量	9.40 t	2.80 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	9.40 t	1.20 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	7.50 t	2.80 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	木くず	金属くず
	全 処 理 委 託 量	164.00 t	2.00 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	12.20 t	2.00 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	155.80 t	1.60 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設廃棄物処理委託契約書に不備が無いよう確認事項を徹底する。</li> <li>・マニフェスト管理・追跡調査を行い、契約履行状況を確認する。</li> </ul>			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 2枚目 (5品目目から8品目目)

①現状	【前年度 ( 4年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
	全処理委託量	4,468.51 t	2.08 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.48 t	2.08 t
	再生利用業者への処理委託量	4,468.26 t	1.98 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物
	全処理委託量	136.40 t	1.43 t
	優良認定処理業者への処理委託量	136.40 t	1.43 t
	再生利用業者への処理委託量	129.58 t	1.14 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまで実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設廃棄物処理委託契約書に不備が無いよう確認事項を徹底する。</li> <li>・マニフェスト管理・追跡調査を行い、契約履行状況を確認する。</li> </ul>		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
	全処理委託量	2,681.10 t	1.20 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.80 t	1.20 t
	再生利用業者への処理委託量	2,680.90 t	1.10 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物
	全処理委託量	81.80 t	0.80 t
	優良認定処理業者への処理委託量	81.80 t	0.80 t
	再生利用業者への処理委託量	77.70 t	0.60 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設廃棄物処理委託契約書に不備が無いよう確認事項を徹底する。</li> <li>・マニフェスト管理・追跡調査を行い、契約履行状況を確認する。</li> </ul>		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 3枚目 (9品目目から12品目目)

【前年度 ( 4年度) 実績】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類 (石綿含有)		ガラスくず等 (石綿含有)	
	全 処 理 委 託 量	0.53 t	14.00 t	
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	13.00 t	
再生利用業者への 再 処 理 委 託 量	0.53 t	14.00 t		
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t		t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t		t
産業廃棄物の種類	ガラスくず等		汚泥	
全 処 理 委 託 量	147.10 t	1.78 t		
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	147.10 t			t
再生利用業者への 再 処 理 委 託 量	139.80 t	1.78 t		
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t		t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t		t
(これまでに実施した取組)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設廃棄物処理委託契約書に不備が無いよう確認事項を徹底する。</li> <li>・マニフェスト管理・追跡調査を行い、契約履行状況を確認する。</li> </ul>				
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類 (石綿含有)		ガラスくず等 (石綿含有)	
全 処 理 委 託 量	0.30 t	8.40 t		
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	7.80 t	
再生利用業者への 再 処 理 委 託 量	0.30 t	8.40 t		
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t		t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t		t
産業廃棄物の種類	ガラスくず等		汚泥	
全 処 理 委 託 量	88.20 t	1.00 t		
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	88.20 t			t
再生利用業者への 再 処 理 委 託 量	83.80 t	1.00 t		
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t		t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t		t
(今後実施する予定の取組)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設廃棄物処理委託契約書に不備が無いよう確認事項を徹底する。</li> <li>・マニフェスト管理・追跡調査を行い、契約履行状況を確認する。</li> </ul>				

①現状

②計画